

資料1

第4学年 特別活動学習指導案

4年生 33名（男子20名 女子13名）

授業者 岡上 里香

1、題材名 「みんながみとめあう学級になるために」

2、題材について

(1) 題材観

本県の学校規模を見ると、地域中心部の「都市型」と「小規模・校区拡大型」の二極化が起こっていると言われている。地域中心部以外のほとんどの学校では、小学校時代（時には中学校も）ほぼ同じ集団で生活することが多くなっており、人間関係の固定化、グループ化が見られ、学習における対話などにもその人間関係が少なからず影響を与えている。構成メンバーがほとんど変わらない集団を、満足型の学級集団に成長させていくためには、固定化された人間関係を再構築していく必要がある。そして、日々の授業において学び合いが成立する温かな学級集団を築いていくことが、学力の向上にもつながってくると考えられる。

そこで、意図的・計画的に人間関係を再構築するために、構成的グループ・エンカウンター等の人間関係づくりのエクササイズを実施する。構成的グループ・エンカウンターは集団の感情交流体験を通して、行動の変容と自己成長をねらっている。児童がエクササイズを体験することを通して、友達とつながり、互いに認め合えるような学級の雰囲気をつくっていきけるように支援していきたい。

(2) 児童観

明るく、元気のある学級である。学習中も、しっかりと自分の思いや考えを発言できる児童も多い。一方で、なかなか自分の思いを表現できない児童もいる。昨年度は、何かトラブルが起こると、友達関係がこじれてしまうようなことがあったが、次第に担任にも相談できるようになり、トラブルも減ってきていた。しかし、昨年度のQ-Uアンケートを見ると、5月に実施した結果より、12月に実施した結果の方が、非承認群が若干増えていた。これは、承認得点の下がった児童が見られたためである。一人ひとりの子どもの状況をみると、友達を傷つける言動や学級内でのグループ化が考えられていた。

(3) 指導観

固定化、グループ化された人間関係を再構築し、お互いに認め合う関係を築いていくために、構成的グループ・エンカウンター等のエクササイズを2つの期間に、それぞれ4回ずつ実施する。1期目は、学級集団としては初期から中期の段階に当たる、6月～7月の時期である。2期目は、中期から後期に当たる、10月～11月の時期である。題材の導入においては、まず、学級の雰囲気を温かなものにするリレーションづくりをねらい、体を使ってゲーム的な活動をすることで協力する喜びを体験させる。次に、自己理解、他者理解を促すエクササイズを実施し、自分を見直し、新しい自分に気づくことや友達への理解を深めるような体験をする。自分のよさや役割を再認識することで、自尊感情を高め、友達と認め合えるような関係を持つことの大切さを理解させていきたい。

3、題材の目標

さまざまな活動を通して、自分を見直し、新しい気づきなど自分への理解を深め、集団の一員としての自己の役割に気づく。また、他者への理解を深め、楽しく豊かな学級生活を送るために、お互い

に認め合える関係をつくることの大切さに気づく。

4、題材の評価規準

(1) 集団活動や生活への 関心・意欲・態度	(2) 集団の一員としての 思考・判断・実践	(3) 集団活動や生活について の知識・理解
①友達といっしょに活動を楽しみながら、協力しようとしている。 ②意欲的に活動に取り組み、今までの自分を振り返るとともに、新しい自分を発見しようとしている。 ③自己の生活上の課題に関心を持ち、意欲的に解決にむけて取り組もうとしている。 ④自分のよさや友達のよさを積極的に見つけようとしている。	①ルールやマナーを守って、活動することができる。 ②自分の考えを持ち、相手の立場に立って考えている。 ③どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。 ④誰とでも仲良く協力して、自分の役割を果たしている。	①みんなで楽しい学級生活をつくる大切さを理解している。 ②相手の気持ちを思いやった行動がよりよい生活につながることを理解している。 ③自分のよさや友達のよさがわかり、学級生活を送る上で、認め合う大切さを理解している。

5、題材のねらいと評価の計画

	エクササイズ名	活動のねらい	評 価				
			関	思	知	主な評価規準の具体例	評価方法
I 期	いっしょに楽しく	楽しさを分かち合う経験を通し、協力する喜びを体験し、集団のあたたかな雰囲気づくりを行う。	◎	○		(1) -① (2) -①	観察 振り返りシート
	自分発見！ 友達発見！	グループで楽しみながら、新しい自分への気づきや、友達への気づきをうながす。	○	◎		(1) -② (2) -②	観察 振り返りシート
	うれしい話の聞き方	相手を不愉快にする話の聞き方を体験し、自分を振り返る。上手な聞き方をされる気持ちのよさを体験し、行動のめあてを持つ。	○	◎		(1) -③ (2) -③	観察 ワークシート 振り返りシート
	☆いくつ	自分のことを12項目から見直し、自己評価と他者評価を比べることで自分のよさを再認識したり、自分の頑張るところを明らかにしたりする。		○	◎	(2) -③ (3) -②	観察 ワークシート 振り返りシート
II 期	心をひとつに	自分が能動的になったり、受動的になったりした時の気持ちに気づく。お互いの気持ちを通わせながらともに動くことの心地よさを味わう。	◎		○	(1) -① (3) -②	観察 振り返りシート
	親友をつくる話の聞き方	話の聞き方の基本レベルを確認し、さらにステップアップして、友達の話に対し冷やかしたりしないでじっくり聞く話の聞き方を知る。	○	◎		(1) -④ (2) -③	観察 ワークシート 振り返りシート
	わたしってなかなかいいね	友達とのかかわりの中で、「自分らしさ」に気づき、短所も見方を変えれば長所であることを知り、自分自身を認める気持ちを持つ。	○		◎	(1) -② (3) -③	観察 ワークシート 振り返りシート
	ほめあげ大会	友達を肯定的に見ることで、思いやりの心を育てる。クラスみんながお互いを認め合う体験を通して、自己肯定感を培う。	○		◎	(1) -④ (3) -①	観察 ワークシート 振り返りシート

6、授業

(1) エクササイズ名「いっしょに楽しく一集団づくりの連続エクササイズ」(1/8)

①本時のねらい

楽しさを分かち合い、協力する喜びを体験することで、集団の温かな雰囲気づくりを行う。

②観点別評価規準

- ・友達といっしょに活動を楽しみながら、協力しようとしている。(1)－① [関心・意欲・態度]
- ・ルールやマナーを守って、活動することができる。(2)－① [思考・判断・実践]
- ・どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。(2)－③ [思考・判断・実践]

③準備 振り返りシート

④展開

	学習活動	授業者の支援・留意点	評価規準	評価方法
インストラクション (5分)	①いろいろなゲームを知ることを知る。	○みんなでいっしょに楽しくゲームをするためにもルールやマナーを守ることを伝える。		
いっしょに楽しく活動しよう				
エクササイズ (30分)	<p><円から円に></p> <p>①全員で輪になる。</p> <p>②全員が移動してもう一度輪になる。</p> <p><拍手リレー></p> <p>①円の体型で隣の子に数回拍手をする。</p> <p>②同じことをやって隣の子に伝えていく。</p> <p>③足踏みなどもやってみる。</p> <p><手つなぎリレー></p> <p>①円の体型で手をつなぐ。</p> <p>②教師がギュッと手を握って発信した合図を順に伝える。</p> <p><ウェーブ></p> <p>①円の体型で手をつなぐ。</p> <p>②教師からつないだ手にウェーブを起こす。</p> <p><合ったね、やった！></p> <p>①「せーの」の合図で全員飛び上って、自由に右か左を向く。</p> <p>②隣の人と向き合えたら「喜びのポーズ」向き合えなかったら「悲しみのポーズ」をとる。</p> <p><全員鬼ごっこ></p> <p>①全員が鬼で全員が逃げる。</p> <p>②タッチされたところは手で押さえる。</p> <p>③3回タッチされたらアウトでその場にしゃがむ。</p>	<p>○参加を強制せず、観察でもよいことを知らせる。</p> <p>○全員が移動するとき、時間を縮める工夫を考えさせるが、強制はしない。</p> <p>○実際にやって見せる。</p> <p>○前と同じように時間を測り、時間を縮めることを楽しむようにさせる。</p> <p>○2回拍手、2回足踏み、2回腰回しなどいろいろなアレンジしてみる。</p> <p>○声を出さないようにさせる。</p> <p>○同時に右、左を合図するなど、いろいろなアレンジを試してみる。</p> <p>○大きな波の時には、隣の人と、強く手を握るようにさせる。</p> <p>○いろいろな動作をすることによって一人一人の心をほぐすようにする。</p> <p>○ペアが固定しないように、新しい円を次々作るようにする。</p> <p>○顔と顔があった時は、最高に喜び合えるように、まず、教師が喜びのポーズをやってみせる。</p> <p>○範囲を決めて取り組ませる。</p> <p>○疲れた子は、救急隊をやらしてもらおうようにする。</p>	<p>友達と一緒に活動を楽しみながら、協力しようとしている。(関心・意欲・態度) (1)－①</p> <p>ルールやマナーを守って、活動することができる。(思考・判断・実践) (2)－①</p>	観察
シェアリング (10分)	<p>①活動の振り返りをする。</p> <p>②振り返りシートに記入する。</p>	<p>○グループで自由に感想を出し合った後に、全体で共有する。</p> <p>○振り返りシートに、感じたこと、考えたこと、これからのことを記入する。</p>	<p>どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。(思考・判断・実践) (2)－③</p>	振り返りシート

(2) エクササイズ名「自分発見！友達発見！（ジョハリの窓）」（2/8）

①本時のねらい

グループで楽しみながら、新しい自分への気づきや友達への気づきをうながす。

②観点別評価規準

・意欲的に活動に取り組み、今までの自分を振り返るとともに、新しい自分を発見しようとしている。

(1)－② [関心・意欲・態度]

・自分の考えを持ち、相手の立場に立って考えている。(2)－②[思考・判断・実践]

・どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。(2)－③ [思考・判断・実践]

③準備 ジョハリの窓シート、振り返りシート

④展開

	学習活動	授業者の支援・留意点	評価規準	評価方法
ウォーミングアップ (5分)	①ジャンケンゲームをする。 ・教師対子ども ・子ども対子ども	○いろいろなじゃんけんをすることで、学級の雰囲気をややかなものにする。		
インストラクション (5分)	①自分について、他の人がどう思っているか、考える。 ②自分や友達について、見なおしてみるゲームをすることを知らせる。	○教師がモデリングをして、やり方を十分理解させる。		
エクササイズ (25分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">自分や友達の新しい発見をしよう</div> ①4～6人のグループになる。 ②その中の一人について、他のメンバーがジョハリの窓シートの項目で、その人のイメージに合う項目を「○○さんが小さかったころは、・・・」と言って指で示す。 ③言われた人は、「本当の私は・・・」と言って、自分の考えている項目を指で示す。 ④1つの項目について順番に変わり合って言うていく。 ⑤全員が終わったら、次の項目について同じように進めていく。	○グループで、順番を決めさせる。 ○子どもの自由な反応ができるように、淡々と進んでいるグループには、教師がサポートし、反応していくようにする。 ○時間を決めて取り組ませ、時間がきたら、途中でもストップさせる。すべて終わらせることが目的でないことを告げておく。	意欲的に活動に取り組み、今までの自分を振り返るとともに、新しい自分を発見しようとしている。(関心・意欲・態度) (1)－② 自分の考えを持ち、相手の立場に立って考えている。(思考・判断・実践) (2)－②	観察
シェアリング (10分)	①活動の振り返りをする。 ②振り返りシートに記入する。	○グループで自由に感想を出し合った後、全体で共有する。 ○振り返りシートに感じたこと、考えたこと、これからのことを記入させる。	どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。(思考・判断・実践) (2)－③	振り返りシート

(3) エクササイズ名「うれしい話の聞き方」(3/8)

①本時のねらい

相手を不愉快にする話の聞き方を体験し、自分を振り返る。上手な聞き方をされる気持ちのよさを体験し、相手がうれしくなる話の聞き方ができるような行動のめあてを持つ。

②観点別評価規準

- ・自己の生活上の課題に関心を持ち、意欲的に解決にむけて取り組もうとしている。

(1)－③ [関心・意欲・態度]

- ・どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。(2)－③ [思考・判断・実践]

③準備 ワークシート、振り返りシート

④展開

	学習活動	授業者の支援・留意点	評価規準	評価方法
ウォーミングアップ (5分)	①サイコロトークンで出た話題について2人組でかわり合って話をする。	○サイコロトークンに不慣れな場合は、話型のカードを参考にして話してもよいことにする。		
インストラクション (5分)	①サイコロトークンで出た話題について、教師が話をし、子どもが下手な聞き方をする。 ②下手な聞き方とはどんな聞き方かまとめる。	○何人かの子どもに下手な聞き方を体験してもらう。 ○下手な聞き方とは、「体を向けない」「相手を見ない」「反応しない」ということであることをおさえる。		
エクササイズ (25分)	①2人組で、1人が話し、もう1人は、下手な聞き方をする。 ②交代でやり、全員が体験する。 ③下手な聞き方をされた時の気持ちを発表する ④話す人が嫌な気持ちにならないようにする聞き方を考える。 ⑤上手な聞き方を意識して、聞き役、話し役を交代しながら体験する。	相手がうれしくなる話の聞き方を考えて、やってみよう ○全体を2グループに分け、1グループがやっている間、もう一方には、観察させる。 ○発表した子どもと同じ気持ちがした人に手を挙げさせる。 ○「相手の方に体を向ける」「相手を見る」「あいづちをうつ」など、上手な聞き方をまとめる。 ○グループは分けずに全員一緒に体験させる。	自己の生活上の課題に関心を持ち、意欲的に解決にむけて取り組もうとしている。(関心・意欲・態度) (1)－③	観察 ワークシート
シェアリング (10分)	①活動の振り返りをする。 ②振り返りシートに記入する。	○グループで自由に感想を出し合った後、全体で共有する。 ○振り返りシートに感じたこと、考えたこと、これからのことを記入させる。	どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。(思考・判断・実践) (2)－③	振り返りシート

(4) エクササイズ名「☆いくつ」(4/8)

①本時のねらい

自分のことを12項目から見直し、自己評価と他者評価をくらべることで自分のよさを再認識したり、自分の頑張るところをあきらかにしたりする。

②観点別評価規準

- ・どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。(2)－③ [思考・判断・実践]
- ・相手の気持ちを思いやった行動がよりよい生活につながることを理解する。(3)－② [知識・理解]

③準備 ワークシート、振り返りシート

④展開

	学習活動	授業者の支援・留意点	評価規準	評価方法
ウォーミングアップ(10分)	①「拍手で集まれ！」をして、いろいろなペアやグループになる体験をする。	○以前やったことを思い出させ、なるべく同じ人にならないようなグルーピングをさせる。		
インストラクション(5分)	①自分のことを人がどう見ているかを考える。	○項目はすべて肯定的なものであることをあらかじめ伝えておく。		
エクササイズ(20分)	自分のよさをみつけよう		どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。(思考・判断・実践) (2)－③	観察 ワークシート
	①自分について振り返り、12項目の中で当てはまるところの星を4つ塗りつぶす。 ②友達のワークシートにも同じようにあてはまるところの星を4つ塗りつぶす。 ③何人かの友達について同様にする。 ④自分が記入したシートと友達に記入してもらったシートをくらべる。	○星は、1つの項目に2つまで塗っていいこととする。また半分でも構わないことを告げる。 ○自分で書いたワークシートはいったん机の中に片付け、次に友達に自分について星を塗ってもらう。 ○星を塗る時は、自分の感じを大切にするため、友達と相談しないことを約束させる。 ○自分が記入したものと友達が記入したものを比べ、気づいたことを何人かの子どもに発表させる。		
シェアリング(10分)	①活動の振り返りをする。 ②振り返りシートに記入する。	○グループで自由に感想を出し合った後、全体で共有する。 ○振り返りシートに感じたこと、考えたこと、これからのことを記入させる。	相手の気持ちを思いやった行動がよりよい生活につながることを理解する。(知識・理解) (3)－②	観察 振り返りシート

(5) エクササイズ名「心をひとつに」(5/8)

①本時のねらい

自分が能動的になったり、受動的になったりした時の気持ちに気づく。お互いの気持ちを通わせながらともに動くことの心地よさを味わう。

②観点別評価規準

- ・友達といっしょに活動を楽しみながら、協力しようとしている。(1)－①[関心・意欲・態度]
 - ・相手の気持ちを思いやった行動がよりよい生活につながることを理解している。
- (3)－②[知識・理解]

③準備物 くじ、ハードカバーの本、振り返りシート

④展開

	学習活動	授業者の支援・留意点	評価規準	評価方法
ウォーミングアップ(8分)	①全員で円をつくる。 ②合図に合わせて前後左右に動く。 ③色の名前が書かれたくじを全員がひく。 ④合図に合わせて「私の持っている色は〇〇です。」と全員が大きな声で言う。 ⑤同じ色の人とペアになる。	○手をつなぎ方(自分がつなぎやすいようにした、相手に合わせた)について聞き、後の活動につなげる。 ○ペアになる様子を観察し、場合によっては、支援に入る。		
インストラクション(2分)	①ペアで能動的、受動的な体験をすることで、自分や友達の気持ちに気づく活動を知ることを知る。	○中心になって動くことが好きな人、みんなについていくことが好きな人がいるが、その両方の気持ちを体験することを説明する。		
エクササイズ(20分)	自分も友達もOKな気持ちを見つけよう			
エクササイズ(20分)	①本をいっしょに持つ。 ②一人が本を自由に動かす。もう一人は、相手の動きに従って動く。 ③役割を交代して同じように行う。 ④感想を言う。 ⑤相手の動きを感じ取りながら、2人にとって気持ちよい動かし方をする。 ⑥役割を交代して同じように行う。	○ルールの徹底をする。 「本をはなさない」「声をださない」 ○動かす方、従う方の役割を決め、確認する。 ○1分ずつ体験させる。 ○「自分はよく、相手はよくない」気持ち、「自分はよくなく、相手はよい」気持ち、「自分も相手もよい」気持ちがあることに気づき、お互いに気持ちのよい動かし方を体験させる。	友達といっしょに活動を楽しみながら、協力しようとしている。 (1)－①[関心・意欲・態度]	観察
シェアリング(15分)	①活動の振り返りをする。 ②振り返りシートに記入する。	○グループで自由に感想を出し合った後、全体で共有する。 ○振り返りシートに感じたこと、考えたこと、これからのことを記入させる。	相手の気持ちを思いやった行動がよりよい生活につながることを理解している。 (3)－②[知識・理解]	観察 振り返りシート

(6) エクササイズ名「親友をつくる話の聞き方」(6/8)

①本時のねらい

話の聞き方の基本レベルを確認し、さらにステップアップして、友達の話に対し冷やかしたりしないでじっくり聞く話の聞き方を知る。

②観点別評価規準

- ・自分のよさや友達のを積極的に見つけようとしている。(1)－④[関心・意欲・態度]
- ・どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。(2)－③[思考・判断・実践]

③準備物 サイコロ、聞き方の評価カード、振り返りシート

④展開

	学習活動	授業者の支援・留意点	評価規準	評価方法
ウォーミングアップ (5分)	①ペアでサイコロトークンをする。 ②交代で1分ずつ話をする。	○聞く側の様子を観察し、聞き方のよかったペアを紹介し、全体で認め合う。		
インストラクション (5分)	①うれしい話の聞き方の基本レベルを振り返り、確認する。 ②さらにステップアップした、話の聞き方を考える活動であることを知る。	○「体を向ける」「相手を見る」「あいづちをうつ」の3つの約束を思い出させる。 ○さらに相手を思いやった話の聞き方はどんな聞き方かを考える活動であることを知らせる。		
親友になれる話の聞き方とはどんな聞き方か考えよう				
エクササイズ (20分)	①親友レベルの話の聞き方はどんな聞き方か考える。 ②ペアで、話す人、聞く人を決める。 ③話す役の人、1分間話をし、聞く役の人は合図があったら相手のためになる一言を考えて言う。 ④役を交代する。 ⑤ワークシートに評価を書く。	○「まじめな話は冷やかさないこと」、「話したいことは何か考えながら聞く」、「相手のためになることを言ってあげる」など、相手のことを思いやる必要があることを知らせる。 ○サイコロトークンの話題について話をする。 ○相手のためになる一言が思いつかない子のために、「大変だったね」「良かったね」「これからいっしょに考えよう」など、言う言葉の例を示しておく。	自分のよさや友達のを積極的に見つけようとしている。 (1)－④[関心・意欲・態度]	観察
シェアリング (15分)	①活動の振り返りをする。 ②振り返りシートに記入する。	○グループで自由に感想を出し合った後、全体で共有する。 ○振り返りシートに感じたこと、考えたこと、これからのことを記入させる。	どのような行動をすればよいかを考え、よりよい生活を送るための方法について判断し、実践している。 (2)－③[思考・判断・実践]	観察 振り返りシート

(7) エクササイズ名「わたしってなかなかいいね」(7/8)

①本時のねらい

友達とのかかわりの中で、「自分らしさ」に気付き、短所も見方を変えれば長所であることを知り、自分自身を認める気持ちを持つ。

②観点別評価規準

・意欲的に活動に取り組み、今までの自分を振り返るとともに、新しい自分を発見しようとしている。

(1)－②[関心・意欲・態度]

・自分のよさや友達のよさがわかり、学級生活を送る上で、認め合う大切さを理解している。

(3)－③[知識・理解]

③準備物 ワークシート、振り返りシート

④展開

	学習活動	授業者の支援・留意点	評価規準	評価方法
ウォーミングアップ(5分)	①いろいろな絵を見て、見方を変えようと、違うものが見えることに気づく。			
インストラクション(5分)	①性格や特徴を表す言葉をあげる。 ②自分のよいところやよくないところを見つめ直し、「自分らしさ」を見つける活動を知ることを知る。	○あらかじめ予想される言葉を模造紙に書いておく。 ○自分のよくないところ、よいところを想像させるために、例を出す。		
見方を変えて、自分らしさを発見しよう				
エクササイズ(20分)	①自分のよくないところ(短所)を2分間で用紙に書く。 ②グループで発表し合う。 ③自分のいいところ(長所)を2分間で用紙に書く。 ④グループで発表し合う。 ⑤気づいたことを発表する。 ⑥友達と教え合ったり、見つけ合ったりしながら、自分の書いた「よくないところ」の見方を変えて「よいところに」書き変えていく。 ⑦良いなと思ったらフレーミングの例をいくつか紹介させる。	○全体の取りかかりの様子を見て、必要であれば、時間の延長をする。 ○数は指定しないが、めやすとして5個ぐらいとする。 ○書くのに時間がかかっている子には、黒板に例をはり、その中から近いものを選びさせる。 ○よいところより、よくないところの方が見つけやすいことに気付かせる。 ○見方を変えることによって、短所も長所になることを知らせる。 ○「自分らしさ」に気づくことができたか、確認する。	意欲的に活動に取り組み、今までの自分を振り返るとともに、新しい自分を発見しようとしている。 (1)－②[関心・意欲・態度]	観察
シェアリング(15分)	①活動の振り返りをする。 ②振り返りシートに記入する。	○グループで自由に感想を出し合った後、全体で共有する。 ○振り返りシートに感じたこと、考えたこと、これからのことを記入させる。	自分のよさや友達のよさがわかり、学級生活を送る上で、認め合う大切さを理解している。 (3)－③[知識・理解]	観察 振り返りシート

(8) エクササイズ名「ほめあげ大会」(8/8)

①本時のねらい

友達を肯定的に見ることで、思いやりの心を育てる。クラスみんながお互いを認め合う体験を通して、自己肯定感を培う。

②観点別評価規準

- ・自分のよさや友達のよさを積極的に見つけようとしている。(1)－④[関心・意欲・態度]
- ・みんなで楽しい学級生活をつくる大切さを理解している。(3)－①[知識・理解]

③準備物 くじ、ワークシート、振り返りシート

④展開

	学習活動	授業者の支援・留意点	評価規準	評価方法
ウォーミングアップ (5分)	①動物の名前が書かれたくじをひく。 ②合図に合わせて、「私の持っている動物は〇〇です」と全員が大きな声で言う。 ③同じ動物の人とグループになる。 ④その動物が好きか嫌いか、また理由など、自由にペアで話し合う。	○全員にくじを配り、グループをつくることを知らせる。 ○グループになる様子を観察し、場合によっては、支援に入る。 ○1分で話し合わせる。		
インストラクション (3分)	①ゲームのやり方を知る。 ②友達をほめるとともに、自分もほめられる体験をすることを 知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">おたがいにみとめ合うクラスにするために、 みんなでほめ合おう</div>	○「☆いくつ」の活動を思い出させ、今回は自分の言葉で、友達のよさを表現することを知らせる。 ○ほめられた時の気持ちを想起させる。		
エクササイズ (22分)	①4人組で、友達一人ひとりのほめてあげたいところを、2つずつ書く。 ②書き終わったら、交換をする。 ③自分について書かれたもので、自分がそうだと思うことは○をつけ、違うと思うところには×をつけ、よくわからないところには△をつける。 ④グループで、○をつけた1つについて1人ずつ発表する。	○友達の顔をよく見て、考えさせるようにする。また、お世辞は書かないことを徹底させる。 ○書くのに悩んでいる子には支援に入る。 ○自分への評価が×や△ばかりになっていないか、子どもの様子を観察する。 ○1人の発表が終わったら、「そう思うよ」などの言葉を添えたり、拍手をしたりして、認め合うようにさせる。	自分のよさや友達のよさを積極的に見つけようとしている。 (1)－④[関心・意欲・態度]	観察
シェアリング (15分)	①活動の振り返りをする。 ②振り返りシートに記入する。	○グループで自由に感想を出し合った後、全体で共有する。 ○振り返りシートに感じたこと、考えたこと、これからのことを記入させる。	みんなで楽しい学級生活をつくる大切さを理解している。 (3)－①[知識・理解]	観察 振り返りシート

資料2

①第2回「自分発見！友達発見！」使用資料

1				
ひまな時にすることは…				
1	2	3	4	5
音楽をきく・読書	スポーツ・外で遊ぶ	ゲーム・インターネット	何もしない・ねる	テレビ・映画

2				
お金がいっぱいあったら…				
1	2	3	4	5
世界中を旅行してまわる	友達をよんで大パーティーをする	とにかく自分の好きなものを買う	とらぬ猿が金する	こまっている人に寄付する

3				
○○さんのタイプは…				
1	2	3	4	5
聞き役にまわるタイプ	フ。どんどん発言するタイプ	明るいふんいきをつくりだすタイプ	フ。まとめ役にまわるタイプ	自分の考えにこだわるタイプ

4				
好きなタイプは…				
1	2	3	4	5
やさしい人	うそをつかない人	かわいい人・かっこいい人	明るく元気な人	いっしょにいて楽しい人・おもじょうい人

聞き方チェックカード

_____ 月 _____ 日 4年()番 名前(_____)

よくできたところは○、もう少しのところは△を書きましょう。

		月 日		月 日		月 日	
		チェックした人	自分	チェックした人	自分	チェックした人	自分
うれしい話の聞き方のポイント		さん		さん		さん	
レベル 1	話す人の方に体をむける						
	話す人の顔を見る						
	うなずき、あいづち						
レベル 2	話す人のじゃまにならないように時々 質問する。						
がんばりたいこと /		がんばりたいこと /		がんばりたいこと /			

☆ いくつ

名前

- ① おもしろい ☆☆☆☆☆☆☆
- ② 元気がある ☆☆☆☆☆☆☆
- ③ 思いやりがある ☆☆☆☆☆☆☆
- ④ 人のめんどろをよく見る . ☆☆☆☆☆☆☆
- ⑤ 自信がある ☆☆☆☆☆☆☆
- ⑥ よく^{どりょく}努力する ☆☆☆☆☆☆☆
- ⑦ 意見をはっきり言う . . . ☆☆☆☆☆☆☆
- ⑧ すすんではたらく ☆☆☆☆☆☆☆
- ⑨ まじめだ ☆☆☆☆☆☆☆
- ⑩ けじめがある ☆☆☆☆☆☆☆
- ⑪ ものごとをよく考える . . ☆☆☆☆☆☆☆
- ⑫ ^{そうぞう}想像力がゆたかだ ☆☆☆☆☆☆☆



めざせ！親友になる聞き方

4年（ ）番 名前（ ）

パートナーの名前	さん
----------	----

ステップ1 自分の話の聞き方をチェックし、☆に色をぬりましょう。

★★★…ばっちり ★★…まあまあ ★…ざんねん

	聞き方のポイント	ひょうか
基本 レベル	① 話す人の方に体を向ける	☆ ☆ ☆
	② 話す人の顔を見る	☆ ☆ ☆
	③ うなずき、あいづち	☆ ☆ ☆
親友 レベル	④ まじめな話はひやかさないで聞く	☆ ☆ ☆
	⑤ 相手が話したいことは何か考えながら聞く	☆ ☆ ☆
	⑥ 相手のためになることを言ってあげる	☆ ☆ ☆

ステップ2 パートナーに書いてもらいましょう

がんばっていた 親友レベルの番号	聞いてもらっているとき、どんな気持ちでしたか

わたして なかなかいいね

4年（ ）番 名前（ ）

ステップ1

自分の「よくないところ」を、書いてみましょう。

自分の よくない ところ	①	→
	②	→
	③	→
	④	→
	⑤	→
	⑥	→
	⑦	→
	⑧	→
	⑨	→
	⑩	→

ステップ2

自分の「よいところ」を、書いてみましょう。

自分の よい ところ	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
	⑦	
	⑧	
	⑨	
	⑩	

ステップ3

見方を変えて、じぶんの「よくないところ」を「よいところ」に書きかえて

みましょう。（例： おこりっぽい→感情がゆたか）

ほめあげ大会

名前	
----	--

ステップ1

ほめてあげたいことを、2つ書きましょう。

	○、△、×
	○、△、×

*2つ書いたら、友だちにかえしてあげましょう。

ステップ2

友だちがほめてくれたことで、そうだなと思うものには○、ちがうなと

思うものには×、よくわからないなと思うものには△を上の方の表の右に書きましょう。

ステップ3

友だちが書いてくれたことで、一番うれしかったのは、どれですか。

一つ、えらびましょう。

学習についてのアンケート

____月 ____日() ____年 ____番 名前(_____)

このアンケートは、今の国語の学習について、ふりかえってもらいます。

めあてに対して自分の考えをもつ時や、友だちとの話し合いのとき、話し合いの後、自分がどうだったかを思い出して答えてください。成績にはまったく関係ありませんので、正直に答えてください。質問を読んで、どれほどあてはまるかで考えてみてください。

1 よくあてはまる 2 少しあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 ぜんぜんあてはまらない

のうち、ぴったりくるものをえらんで、番号に○をつけてください。

	よくあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
1 友だちの考えを聞いて、もう一度自分の考えを見直すことができた。	1	2	3	4
2 友だちの考えを聞いて、いろいろな考え方があることに気がついた。	1	2	3	4
3 はじめはあいまいだった考えをはっきりさせることができた。	1	2	3	4
4 自分の考えと友だちの考えをくらべることができた。	1	2	3	4
5 友だちや先生の話聞いて、学習していることがわかった。	1	2	3	4
6 これからの学習にいかしたいと思う考えや考え方が見つかった。	1	2	3	4
7 自分がわからない時は、友だちや先生に聞くことができた。	1	2	3	4
8 自分一人では、解決できないことでも、友だちとなら解決できる。	1	2	3	4
9 質問されたことに答えることができた。	1	2	3	4
10 自分の考えたことをわかりやすく話せた。	1	2	3	4
11 学習が楽しかった。	1	2	3	4
12 話し合いによってまとまった自分の考えを自分の言葉で書いたり、話したりすることができた。	1	2	3	4
13 友だちの考えについて、わからないことを質問できた。	1	2	3	4
14 前の学習と今日の学習のつながりがわかった。	1	2	3	4
15 自分の話を聞いてくれてうれしかった。	1	2	3	4
16 友だちや先生は、教えてくれたり、はげましてくれたりした。	1	2	3	4
17 友だちとの話し合いを楽しむことができた。	1	2	3	4

学級のふんいきにかんするアンケート

月 日 () 名前 ()

このアンケートは、今の学級のふんいきをどう思っているかをきいているものです。質問を読んで、どれほどあてはまるかで考えてみてください。

1 よくあてはまる 2 少しあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 ぜんぜんあてはまらない

のうち、ぴったりくるものをえらんで、番号に○をつけてください。

あてはまる
よく
あてはまる
少し
あてはまらない
あまり
あてはまらない
ぜんぜん
あてはまらない

	1	2	3	4
1 クラスには、人の気持ちがわかる、やさしい子がたくさんいます。	1	2	3	4
2 クラスのみんなは、体育や勉強などで、できないことがあった時、教え合います。	1	2	3	4
3 クラスのみんなは、苦手なことでもがんばっている友だちを おうえんします。	1	2	3	4
4 クラスのみんなは、発表をまちがえた人やできないことのある人を笑ったりからかったりします。	1	2	3	4
5 クラスには、いじめられたり、なかまはずれにされたりする子がいます。	1	2	3	4
6 クラスのみんなは、力の強い子や人気のある子が、もし悪いことをしたとしても、えんりょせずに注意できます。	1	2	3	4
7 クラスのみんなは、話し合いの時、みんなが思っていることをえんりょせずに言えます。	1	2	3	4
8 クラスのみんなは、授業中と休み時間のけじめがついています。	1	2	3	4
9 クラスのみんなは、先生の話や発表する人の話を静かにきけます。	1	2	3	4
10 クラスのみんなは、授業中、一生けんめい勉強します。	1	2	3	4
11 クラスのみんなは、学校のきまりやみんなで決めたことを守ります。	1	2	3	4
12 クラスのみんなは、学校の行事や、お楽しみ会などに、やる気を出します。	1	2	3	4
13 運動、係活動など、それぞれの場面でいろんな人がリーダーになります。	1	2	3	4
14 だいたいの人が、そうじを一生けんめいします。	1	2	3	4
15 授業中、たくさんの人が意見を言います。	1	2	3	4
16 クラスには、運動やスポーツ好きで元気な人がたくさんいます。	1	2	3	4
17 クラスには、じょうだんやおもしろいことを言って、笑わせる人がたくさんいます。	1	2	3	4
18 クラスのみんなは、給食中、近くの人と楽しくおしゃべりしながら食べます。	1	2	3	4